



如意ヶ丘

〈発行〉平成14年12月20日



トレーニングハウス



竣工式テープカット

トレーニングハウス

平成14年12月7日 竣工式

1. 建物概要

建築面積 256.08㎡

延床面積 250.32㎡

2. 室内備品概要

フリーウエイト 15セット

トレーニングマシン 9台

補強補助器具 10数種類

本校の近況



学校長
西井 秀子

待望のトレーニングハウスの竣工式典をこの程挙行させていただきました。

山下同窓会長さんをはじめ多くの方々のご尽力により、最新のトレーニング機器が配備された大変立派なものです。厚くお礼申しあげます。これからは、スポーツ医・科学に基づいた個々のデータによる適正かつ効率的なトレーニングができることになりました。運動部員をはじめ全校生徒の基礎体力づくりの場としても役立てることとしております。

さて、高校再編の動きの中であって、本校と

しての一層の特色ある学校づくりに努めているところです。環日本海時代を見据えた取り組みの一環として、国際コースに従来のロシア語に加えて、初級韓国語、初級中国語を開講することにしました。また、今年度3月には、サッカー部が韓国遠征を計画しており、只今韓国語のレッスンを始めたところです。

歴史ある本校のさらなる飛躍を目指し、教職員、生徒一丸となって取り組む決意を新たにしております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ごあいさつとします。

総会報告

“和やかな会に雅な琴演奏” 如意ヶ丘同窓会総会

伏木高校の如意ヶ丘同窓会は8月14日、伏木福祉会館で総会を開いた。

山下和夫会長が開会の挨拶、西井秀子校長が生徒の活動状況を報告。議事は議長を兼務した山下会長によって進められ、総会で選ばれた会長が顧問・副会長を委嘱する会則改正案などを承認。その後、会長選考委員が協議して再選した山下会長を満場一致で承認した。

本校琴部による演奏が披露され、会場は雅やかな音色に包

まれる中、懇親会は中尾正顧問（県議）の乾杯で開宴。終始和やかな雰囲気が進んだ。今年の参加者は90人以上になり、若い参加者が多く、例年以上に若やいだ雰囲気だった。



関東支部より

関東支部長 清水 正 (高13回卒)

第6回関東支部総会は7月7日午後1時より千代田区JR市ヶ谷駅前のアルカディア市ヶ谷で開催され、約50名が出席して親睦を深め、盛会でした。



会は四日哲夫幹事（高15）の司会進行ではじまり、清水正支部長（高13）の歓迎の挨拶の後、山下和夫本部同窓会長（北3）より本部の近況報告を交えた祝辞、谷内田重次副校長より母校要覧にもとづいた近況報告を交えた祝辞が、それぞれなされて議事に入りました。

議事は平成13年度の事業報告と会計報告並びに会計監査報告、つづいて平成14年度事業計画が、野田明・北山雅子事務局（高14）と川口直弘監査役（高16）より、それぞれ報告と提案があり満場一致で承認されました。

小憩ののち懇親会にうつり、根木佐明顧問（高6）のスピーチと乾杯の音頭で開宴となりました。先輩後輩入り交じって歓談が盛り上がるなか、中尾正本部顧問（北6・富山県会議員）より少子化に伴う県内高校の状況と自治体の統合問題について有意義な話を拝聴しました。つづいて総当たりビンゴゲームがはじまり、「リーチ」、「ビンゴ」の掛け声のなか、賞品として記念切手などが渡され存分に楽しくすごしまし

た。名残りもつきぬ午後3時半過ぎ、商業、高校の校歌を熱唱、つづいて潮見喜八郎副支部長（高11）の音頭で会員各位のご多幸と支部の発展を祈念して万歳を三唱し、米田清治幹事（高11）の大めめで盛会裡に別れを惜しみながら来年の再会を誓いました。

尚、今総会は開催の月を3月上旬における関東、北陸地方の天候不順を考慮して7月に変更し、会費を経済不況が続いているので減額（男子6,000円 女子5,000円）といたしました。又女子全員の出席が多くなり次の通りでした。

丸山 彩子（北3・富岡）白川 慶子（高12・三国）
北山 雅子（高14・西川）中川 紀子（高14・吉井）
金山 仁子（高16・吉居）四津 昌子（高16・越井）
石田 栄子（高18・松原）脇本 洋子（高19・河）
宮澤 正美（高30・木谷）高橋美由里（高30・土肥）

（敬称略、卒業回数と旧姓）



校章由来



東に霊峰立山を望み北には洋々たる日本海を抱く本校は伏木港を見おろす高台に建っています。本校の校章は錨の上に大きく羽ばたく鳩の翼で、三角形をかたどっています。鳩と錨の翼は万邦友好の情熱と英知と礼節をもって四海に雄飛しようとする姿を象徴し、国家人類の進展に寄与せんとする信頼を示しています。三角形は、教育方針にあるように「明るく、強く、清く」の人間形成の目標をあらわしています。

ふるさと産品総当たり

関西支部より



伏木高校の第6回如意ヶ丘同窓会関西支部総会は9月28日、大阪中央区の大阪倶楽部で約30人が集まって開かれた。

高田昌彦幹事の司会で、麦谷実支部長が挨拶、山下和夫本部会長が雨晴トンネル開通や勝興寺の改修など伏木町の近況を交えて祝辞、西井秀子校長が10月末にトレーニングハウスが完成することなどを話した。秋常陽一幹事長、高田会計、奥誠二監査からの諸報告を承認した。

懇親会は呉谷英治さんの乾杯の発声で開宴。麦谷支部長、山下会長らがアカペラで伏木商業の校歌を高唱。全員で高校校歌を合唱した。島田正人事務局の進行でジャンケン大会、地酒、干物、うどんなど富山の名産品争奪で盛り上がった。山下会長の万歳、本元憲明副支部長の挨拶で閉会した。



幹事の一人言

3ヶ月に一度の割合で如意ヶ丘関西支部の幹事会を梅田の居酒屋でにぎにぎしく集まり、酒を酌み交わしている。

先輩のA氏などは伏木弁の飛び交う会話を聞いては「わしゃたまらんわ」を連発している。私をも含め彼にとっても伏木弁は感慨も一入なのである。若くして故郷を離れ、機会あって総会や幹事会に参加した中で同郷者同士の伏木弁は感動そのものなのであろう。こんなにも伏木弁に飢えておられたのかと、ささやかではあっても如意ヶ丘同窓会を存続させねばと思う今日この頃です。(一幹事)

高岡市民文化賞受賞

服飾界の草分け 西田武生氏 (伏商9回卒)

高岡市内在住者や出身者で学術研究や芸術文化、スポーツなどで優れた業績があった個人、団体に表彰される「第13回市民文化賞」を我々の大先輩であられる西田武生さんが受賞されました。西田さんは、日本服飾界の草分け的存在で皇族の公式用スーツや各界著名人の衣装デザインを数多く手掛け、世界的デザイナーとして高い評価を受けて今回の受賞となりました。

西田武生氏 講演「モードとファッション」

6月28日(金)、高岡市民文化賞を受賞された服飾デザイナー西田武生氏をお招きし、本校体育館において講演会を開催しました。西田氏は、日本ファッション界の先駆けとして活躍されたお話を、温かくはつらつとしたお声で生徒たちに語り、「自分の良い所を見つけてそれを伸ばすことが大事。大きな夢を持ってほしい」と激励してくださいました。



第17回

如意ヶ丘グリーン会だより

◎とき 平成14年4月13日(土)

◎ところ 氷見カントリークラブ

・競技方法 ダブルペリア方式

(上位成績は次のとおりでした)

優勝	田中清	(北9)
次勝	川谷昭夫	(北7)
3位	川淵忠雄	(高15)
4位	杉沢武俊	(高19)
5位	海老邦明	(高23)
6位	大山勝好	(北7)
7位	北野重信	(高10)
8位	沖野栄二	(高19)
9位	青木勲	(高13)
10位	牧亨	(高16)
B・B賞	宮崎勝之	(高12)



楽しきかな同窓会

同窓会会長 山下和夫 (北高3回卒)

本年度も7月7日は関東支部同窓会、続いて8月14日は伏木福祉会館に於ける本部同窓会、9月28日には関西支部同窓会と出席させていただき、同窓のよしみで、先輩、後輩の別なく、何れも楽しい時間を過ごさせてもらいました。わけても関西支部同窓会は、幹事さん方のアイデアで参加者全員が郷土の名産品にありつけるピンゴゲームで、かまぼこ、黒作り、みりん干、清酒立山等々、それはにぎやかでした。さらに二次会は南の酒場に当日参加のほとんどが集い、カラオケで盛り上がりました。八十路の麦谷支部長が一番いいのどを聞かせる場面もありました。

11月には私達北高3回生の同級会を氷見の民宿でやりました。古希を迎えての同窓会は、恩師高峰正岡先生を囲んでのものでしたが、高峰先生と同級仲間一番の活躍者吉原節夫高岡法科大学長、さらにどういうわけか小生と3人に大きなシクラメンの花が贈られました。東京や名古屋方面からの参加者8名もあり例によって夜中迄シャベリ騒ぎ、平均睡眠時間は3時間もあったでしょうか!! 名古屋から参加した藤田君などは、関東、関西に如意ヶ丘同窓会があって名古屋に支部が無いのは残念、是非中部支部を作ろうという話にもなり、私も酒のいきおいも手伝って“うんやろう”という話をした様に思います。実現したら良いなあと思っています。

今母校では原田前校長の肝煎で着工したトレーニングハウスがこの14年度に完成しました。運動部を中心にきっと同窓生の我々を喜ばせてくれる部活動が一段と充実して、伏木高校ここにありと全国に勇名を馳せる日も近いと思います。いずれに致しましても我々同窓が若き日を偲ぶとき、如意ヶ丘の高校生活がほうふつとして湧き出て参ります。

母校よ永遠なれ!!



「一枚のハガキに心を寄せて」

白川慶子 (伏高12回卒)

一枚のハガキ。それは関東支部第6回総会の御案内でしたが、その片隅に自筆で書かれた一言に目が止まりました。「ブラバン時代が懐かしいですOB」と…。差出人は後輩の野田明さん。コントラバスを吹いていた真面目な青年の姿が思い浮かんできました。早速、事務局に連絡を入れると、電話口に出られた方がなんと、私と一緒にクラリネットを吹いていた後輩の北山(西川)雅子さんではないですか! 驚きました。当然ながら思い出話が弾み、総会での再会を約束しました。

今年の3月に還暦を迎えて、40年間勤めた福祉の道、保育園での子育て支援にピリオドを打ちました。第二の人生は「孫、増やせ」とばかりに、孫の子育て支援を楽しんでいます。功を奏したのか、来年の3月には3人目の孫が誕生、ますます「ジジ、ババ、もてもて」の人生になりそうです。

そんな今、やっと心にゆとりが戻ってきたのでしょうか。思いは情熱を燃やした高校時代にさかのぼり、足取りも軽やかに総会の会場に入って行きました。プラスバンド部の仲間、同期生、同窓生と集いながら、昔の面影が思い出されて、心は一瞬にして海と立山のそびえる我が母校を駆けめぐり、とても酔い心地になりました。又、ご来賓の同窓会会長、副会長の両山下氏とは、私と同じ伏木一宮出身で、住まいも近く、昔から存じておりましたので、お会いできたことも夢のようでした。

長い間、御無沙汰しておりましたのに、人の心に寄り添う一枚のハガキから、懐かしい思い出に浸ることができました事は、同窓会を運営された役員の皆様方のおかげと、心から感謝申し上げます。今は、未だお会いしていない恩師、親しき旧友との再会を実現したいものと、関東の地より夢みております。

九伏
回卒商
北野
弘

フレッシュアルファー(有きたの)
代表

十伏
回卒商
山崎
孝之

伏木信用農協協同組合
組合理事長

三北
回卒高
山下
和夫

山産
商會
代表

四北
回卒高
高見
健二

スエ
ヒロ
代表

四北
回卒高
北村
洋子

北村
書店
代表

八北
回卒高
松長
一雄

松長
社会保険労務士事務所
所長

九北
回卒高
田中
清

北陸
菱商(株)
代表取締役

青春の思い出

伏江 章 (伏高31回卒)

恥ずかしい話だが僕は数学のノートを涙で濡らしたことが一度ある。当時、僕はさほど勉強ができたわけでもないのに大学受験を志していた。凡才の僕にとって、人より少しでも努力することでしか目標を見いだせなかったから、受験生はみんな「灰色の青春時代」なのだと思いつつ毎晩遅くまで勉強した。文系の脳ミソに加えて共通一次試験の一期生でもあり、毎日が不安の連続だった。そんな僕に最も苦痛だったのが数学だった。ある夜、明日までの数学の問題に取りかかっていたとき、何のこともないような計算問題がどうしても解けない。友達なら5分そこそこで解くだろう問題に50分かかっても答えが出せない。こんなことで本番の入試は大丈夫なんだろうかと思った瞬間、両目から涙がこぼれ落ちていった。悔しさと情けなさが入り交じったほろ苦い涙だった。今でも辛いことがあると、時々あの時の涙を思い出すことがある。多かれ少なかれ青春時代の挫折は人生の大切な糧になるだろうと思う。

そんな日々を過ごしていた僕たちにとって心の慰めだったのは、学校で友達とワイワイ喋ることや週末に仲のいい友達と集まってギターを弾いて歌うこと(僕たちの間ではかぐや姫や風が流行っていた)だった。そしてそれを先生達が見守ってくれていた。毎回授業で必ず笑わせてくれた漫画師T先生の生物、赤点を取った人の答案が宙を舞うスリルいっぱいM先生の数学、「なんと驚くことなかれ！」が口癖だったS先生の政経、何度「あんたらっっちゃ学校やめられ！」と言われたことか恐怖のK先生の英語。当時は英語や数学がある日はみんなビビって登校したものだ。

久しぶりに卒業アルバムを開いてふと思った。あの頃は厳しいなと思っていた先生たちが不思議とみな穏やかな表情で写っている。もしかしたら、ユーミンが“卒業写真のあの人はやさしい目をしてる”と歌うあの人って、先生たちのことだったのかな？

サッカー部の思い出

上見 麻紀子 (伏高50回卒)

私は中学3年生の時、冬の選手権大会で活躍している伏木高校サッカー部を観ました。その姿に感動し、入学したらマネージャーになって選手と共に全国への道を目指したいと強く思いました。そして、入学後はマネージャーとして入部することができました。

主な仕事内容は、サッカー協会やOB会などの資料作りです。その仕事がない時は部室やバスの掃除をします。入部したての頃はどれも初めてのことであったので、失敗ばかりして先生や先輩に迷惑をかけていました。特に資料作りでのコピーは、用紙のサイズや原稿の置く位置を間違えたりしてどれだけ用紙を無駄にしたか分かりません。また、試合の時にはドリンクを作ったりスコアをつけたりします。私はあまりサッカーのルールを知らなくて、オフサイドや直接フリーキックと間接フリーキックの違いなどを理解するのに苦労しました。

多忙な日々が続く辛いと思うこともあったけれど、試合に勝った時にはそんなことも忘れさせてくれました。特に、3年の時の県総体の富山第一高校との決勝戦は一番心に残っています。試合は再延長戦までもつれこむ大接戦でした。相手に同点にされ、そして勝ち越されても選手達は最後まであきらめませんでした。その結果、5対4で競り勝ちました。あの優勝が決まった瞬間の喜びは、5年たった今でもはっきりと覚えています。この先もずっと忘れることはないでしょう。

私の高校生活は部活動一色でした。正直、「早く帰りたい」とか「休みがもっと欲しい」と思ったこともありました。しかし、全国大会へ行くことができたことなど他の人が味わえない多くのことを経験することができたと思います。何よりも素晴らしい先生方や仲間に出会えました。

3年間いろいろあったけれど、今は全てのことが良い思い出になっています。

九北
回卒高
代表取締役
東光産業(株)
布野彰一

十伏
回卒高
代表
(有)日光商事
戸澤克行

十伏
回卒高
代表取締役
(株)オート・シマ
鳥孝夫

十伏
回卒高
代表
(有)巽金属
浄土文夫

十三伏
回卒高
代表取締役
高建設(株)
高井逸郎

十伏
回卒高
代表取締役
(株)ウエノ
上野宏芳

十五伏
回卒高
代表取締役
(株)フシキ住設
中山勝儀



同窓会活動を顧みて 同窓会副会長 山下利一 (伏高15回卒)

平成6年7月、30年勤めた総合商社を退社、郷里にもどりました。この年11月如意ヶ丘同窓会総会に友人と参加したところ、役員改選時で副会長を拝命。これを機に同窓会とのかかわりが始まりました。まず同窓会支部がないことに気づき結成準備を行っていた時、平成7年1月母校が「全国高校サッカー選手権大会」に出場決定となりました。試合終了後、同窓会支部結成の目的で「同窓会の集い」と称し東京近郊の方々に参加を依頼、席上「関東支部結成の為、皆様方の協力ならびに尽力をお願いしたい。関東支部結成の晩には関西、中部支部を結成したい」と挨拶をさせていただいたことが懐かしく思い出されます。ただこのときは支部長予定者のご都合で結成されず、その後平成9年3月に結成されました。

平成9年8月サッカー部が京都インターハイ出場、38年ぶりに野球部がベスト4進出。これを機に青木勝栄(北6)さん他のご協力で、平成9年9月に関西支部が結成されました。また平成8年6月には役員の改選が行われ新体制が確立されていました。

同窓会では、役員の新体制、関東/関西支部結成。学校側では野球部ベスト4、サッカー部インターハイ出場等を背景に平成9年10月には70周年記念事業が盛大に行われました。

同窓会活動の為の資金がないこともあり、会報発行(¥2,000-5年間発送)を企画。

1) 80周年事業を念頭におき、2) 余剰資金を同窓会活動資金とする目的であった。現在、同窓会活動資金は支部への活動資金助成、支部総会へ本部役員派遣、会旗制作など有効に利用しております。私も労力、時間、費用をかけ苦勞しましたが、

1) 役員刷新 2) 支部結成 3) 総会の体制確立 4) 活動資金確保ができたことは同窓会活動の基盤が確立されたものと思っております。

これからも、会員の皆様方のご理解とご協力により同窓会活動も前進、発展的に活動をすべきだと考えています。

最後に今一度ご協力いただいた皆様方には感謝致しています。

合掌

同期会報告

津幡孝司 (伏高20回卒)

我々20回卒は、11月23日勤労感謝の日に、35・36ホーム合同のクラス会を10年ぶりに開きました。場所は大島町の同級生の熊谷勇さんの店(天よし亭)で、35ホーム担任の池田雄建先生と22人の出席者がありました。会を開くにあたり、5年前に亡くなられた36ホーム担任の宮西先生に黙とうを捧げ、一次会を開きました。

一次会は、昔の武勇伝や池田先生の昔の思い出話で大いに盛り上がり、二次会は高岡のスナック(TOMO)さんでカラオケ大会等で時間のたつのも忘れて楽しく過ごしました。今回仕事の都合で出席できなかった人のために、次回は平成16年1月2日に行うということで散会しました。

教育実習から得たもの

都留文科大学 篠原理絵 (伏高51回卒)

生徒達は教育実習生である私に“先生頑張って”と声をかけてくれました。私は学び舎である伏木高校で、教える立場でもあり、教わる立場でもある貴重な時間を送ることができました。

2週間の教育実習から、人に物事を教える大切さと難しさを痛感させられたように思います。教えるという事は、どのようにすれば生徒が授業に興味を持ってくれるかを考えるところからはじまり、そのために教材研究を重ね準備をし、わかりやすい授業展開になるよう努めて理解させる、その行為すべてが教えることになるのだと気づき、改めて教育の大変さを実感しました。

指導教諭をはじめ先生方、そして生徒達に恵まれ充実した2週間を過ごすことができました。学生生活を終えて社会人となるにあたり、この教育実習は有意義なものとなりました。

十五回高
代表
立野誠一
(有)立野機工商会

十五回高
代表
山下利一
静富茶園

十六回高
代表取締役
山孝之
ヤマ自動車株

十六回高
代表取締役
牧亨
東光運輸株

十七回高
代表取締役
佐野隆
信和産業株

十九回高
代表取締役
山口正志
東洋通信工業株

二十七回高
院長
井上人士也
井上動物病院

生徒一人ひとりの自己実現を支援する進路指導

進路指導主事 中尾 公一

平成13年度 進路別現役合格者数(延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	12名	富山・山梨・愛知県立・富山県立 職業能力開発大学校・北陸職能
私立大学	92名	関西・近畿・京都産業・国士館・帝京・亜細亜 大阪学院・名古屋学院・愛知淑徳・金沢工業 北陸・金沢星陵・富山国際など
国公立短大	9名	高岡・富山県立・大月
私立短大	37名	関西外語・金城・富山など
専門学校	65名	富山医療福祉・高岡市看護・富山市立外国語 富山歯科総合・富山県立技術など
就職	6名	YKK・伏木海陸・海津屋など

今年度、進路指導部では、生徒一人ひとりの進路目標の早期設定やその実現に向けての取り組みを、PTAの方々や同窓会の皆様のお力添いを賜り、行って参りました。

6月には、上級学校等についての具体的なイメージを持つのに、教育実習に来られた卒業生の方を中心に、今年度新規の行事である「第1回先輩と語る会」を開催し、各学校での様子やアドバイスをいただきました。7月には、ご家庭での進路に関する話し合いのきっかけにと、各種学校26校を招いての「第1回進路ガイダンス(上級学校説明会)」を実施しました。11月には実社会での話を基に職業意識を高めるために、PTAや同窓会の皆様に講師を引き受けていただき、「第2回進路ガイダンス(職業人講話)」を実施しました。19分野に分かれてのお話は大変好評でした。

来年3月には、新規同窓会員となる現3年生を講師に「第2回先輩と語る会」を開催し、勉強の秘訣などを話してもらう予定です。

今後とも、生徒一人ひとりの夢の実現に向けてのご協力を宜しくお願いします。

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆◆◆ 平成14年度上位賞 ◆◆◆◆◆

春季大会

〈サッカー〉

ブロック優勝

〈体操〉

男子団体総合 優勝

男子個人総合 第2位 松本 正博(3年)

富山県高等学校総合体育大会

〈体操〉

男子団体総合 優勝

男子個人総合 第2位 松本 正博

北信越大会出場(富山)

全国大会出場(茨城)

〈陸上部〉

女子円盤投げ 第3位 高越 千穂(3年)

北信越大会出場(石川)

〈陸上部〉

第7回富山カップ陸上競技大会

女子円盤投げ 第6位 高越 千穂

第39回富山県高等学校陸上競技新人対校選手権大会

女子槍投げ 第6位 盛野 聡子(1年)

男子ハンマー投げ 第8位 渡辺 勇佑(1年)

〈サッカー部〉

第81回全国高等学校サッカー選手権大会富山県大会 ベスト8

富山県高等学校新人大会 ブロック優勝

〈琴部〉

第14回富山県邦楽連盟演奏会 最優秀賞

平成15年度 全国高等学校総合文化祭(福井)出場権獲得

〈吹奏楽部〉

第50回全日本吹奏楽コンクール富山県大会(大編成の部) 銅賞

第45回中部日本吹奏楽コンクール富山県大会(小編成の部) 金賞

〈書道部〉

第39回全国読書大会 大会委員長賞 津野 恵理(3年)

奨励賞 松村 陽奈(2年)

第54回高岡学生書道展 高岡市議会議員賞 松村 陽奈

〈演劇部〉

高岡地区高等学校演劇発表大会 優秀賞(地区代表)

第45回富山県高等学校演劇研究発表大会 奨励賞

インターハイに出場して(体操競技)

体操部顧問 明野 尚人

体操競技部では3年男子3名、2年男子2名、1年男女各1名で、スポーツエキスパートの木原先生のご指導の下、練習に励んできました。その甲斐もあり、8月に茨城県で開催されたインターハイに男女とも出場することができました。全国の壁は厚く、上位入賞こそ果たすことはできませんでした。自己最高得点を出すなど、持てる力を十二分に発揮することができました。現在も来年度の全国大会出場を目指し、がんばっています。



全国高校文化祭に出演して(吟詠剣詩舞)

2年 山田 千紘

私は、8月10日に神奈川県横須賀市で行われた全国高校文化祭に吟詠剣詩舞の富山県の代表として大門高校と新川女子校の仲間と出演しました。この日のために何ヶ月も前から練習をしてきました。おかげで本当はとても緊張したけれど、期待どおりにうまく舞うことができました。

全国の大会に出演する機会はありませんのでとてもいい経験になりました。これからも練習を続けて来年もぜひ出演したいと思います。



オリンピック選手 大森盛一氏(伏高43回卒)トークショー

12月7日(土)に行われたトレーニングハウス竣工式の記念事業として、本校陸上部OBでアトランタ五輪に出場した大森選手と、伏木高校時代に大森選手を指導された荻俊夫石動高副校長によるトークショーが行われました。KNBアナウンサー木下一也さんの司会によって、高校時代の練習の思い出や、オリンピックに出場した時の感想などが次々と繰り広げられ、世界の大会で活躍した先輩の話に生徒たちも興味津々に耳を傾けていました。



ロシア沿海地方親善団ホームステイ

教務部国際係主任 越前 由紀子

今年度で本事業も10回目を迎えることとなりました。高校生4名及び引率のイリーナ先生の計5名から成る親善団一行は、府丘祭、高岡市内地域見学、国際理解デーなどの行事に参加し、10日間の日本滞在を終えた後、ホスト・ファミリーの皆さんに見送られて、別れを惜しみながら伏木港よりウラジオストクへ向けて帰国しました。地域性を生かした本事業のため、多くの方々よりご支援を賜りましたおかげで無事10回目を終えることができましたことに感謝いたしますと共に、今後とも宜しくお願いいたします。



スポーツ交流実施

サッカー部顧問 谷内 浩仁

国際理解教育を推進している本校の教育理念に基づき、サッカー部がW杯の成功で友好の深まった韓国とスポーツ交流を実施することとなりました。

これは、以前から海外遠征実施を望む声があったこともあり、サッカー部育成会やOB会、後援会の心強いバックアップの下、職員会議の承認を経て決定したもので、県内の県立高校では初めての事業となりました。

派遣は、3月20日(休)から4泊5日の日程で行い、人数はスタッフを含めて20名前後を予定しており、^{バジュ}坡州市内の高校や大学チームとの親善試合が5～6試合計画されています。

この交流を通して、競技力の向上は勿論のこと、日韓の親善と交友を深め、更には歴史や文化にも触れる事によって本校活性化の一助になればと願っています。

寄贈

伏高12回卒 野田 武

世界文学全集 全100巻
(河出書房新社)

東洋の歴史 全13巻
(人物往来社)



INFORMATION

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたく思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
- ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
- ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第二土曜日
- ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。御利用下さい。
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
- ⑤来年度の総会を8月14日(休)に予定しています。

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

編集後記

会報第8号をお届けします。今回も先輩諸氏のご活躍をたくさん掲載し、ますます充実した紙面となりました。ご寄稿いただいた方々に、心より感謝申し上げます。

